

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 半田市立板山小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒475-0939  
愛知県半田市四方木町37-1

E-mail itayama@itayama-e.ed.jp

Website http://itayama-school.jp/

児童生徒数 男子 153名 女子 141名 合計 294名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域学習）

### 3. 活動内容

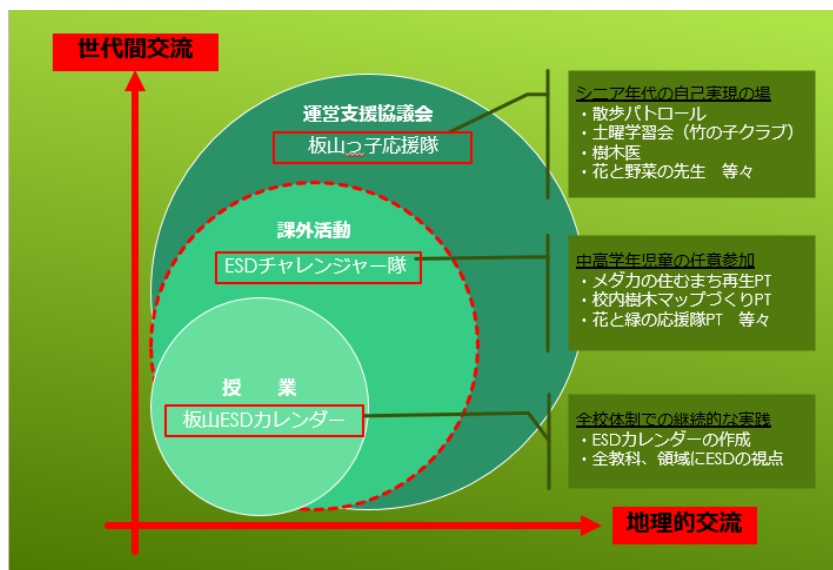
#### (1) 三層から成る「板山 ESD」学びの循環の体制構築

ESD 活動の継続性、将来性を担保するには、地域を巻き込んだ活動基盤の整備が不可欠である。本年度、本校では、下図のように【授業】<【課外活動】<【地域（学校運営支援協議会）】の三層から成る「板山 ESD」学びの循環の体制を整備した。

授業をコアに見童の興味・関心を喚起し、任意の意思に基づく課外活動の場「板山 ESD チャレンジャー隊」を設けた。さらに、そうした見童の「学び」を地域で受け止める支援組織「板山っ子応援隊」を地域のボランティアで結成し、その外郭に構成した。

こうした三層から成る基盤に立脚する ESD の展開が「板山 ESD」の特色であり、その中で世代間交流や地理的交流が広がりつつある。

(2) に、各セグメントの活動を簡潔に紹介する。



#### (2) 具体的な活動内容

##### ① 【授業】……「板山 ESD カレンダー」の全学年整備

生活科や総合的な学習を中心に新たな単元開発に取組み、全教科・領域をわたる「板山 ESD カレンダー・年間指導計画」(下表例)を作成するとともに、ESD の視点を踏まえた授業研究に取り組んだ。

教科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語												
社会				米作りの さかんな地域								
算数												
理科												
総合的な学習		メダカが 住むまち	メダカが 住むまち			メダカが 住むまち						
音楽												
図工												
家庭												
体育												
道徳												
特別活動												

Additional activities and themes from the calendar grid:

- 4月:** 遠足 (HAXライブミュージアム)
- 5月:** 板山をデザインしよう
- 6月:** メダカが住むまち (課題をつかむ)
- 7月:** 野外教育活動
- 8月:** 燃える、かがり火 (郷土愛)
- 9月:** 授業をよりすくって俳句を作ろう
- 10月:** メダカが住むまちの板山を取り戻そう2 (計画・実施)
- 11月:** ホタルの舞う里
- 12月:** 伝説を読んで、自分の生き方について考えよう
- 1月:** 環境を守るために自分にできることを考えよう (水質以外の環境問題)
- 2月:** 環境とわたしたちのくらし / 環境とわたしたちのくらし
- 3月:** 自然災害から人々を守る
- その他:** 洗れる水のはたらき, 米作り, 伝説, 自然災害から人々を守る, 環境を守るために自分にできることを考えよう, 燃える、かがり火, ホタルの舞う里, 伝説を読んで、自分の生き方について考えよう, 環境を守るために自分にできることを考えよう, 環境とわたしたちのくらし, 環境とわたしたちのくらし, 自然災害から人々を守る.

② 【課外活動】……「板山 ESD チャレンジャー隊」の編成

「板山 ESD カレンダー」による授業から発展した課外活動「板山 ESD チャレンジャー隊」を児童志願者により編成し、次の分隊（PT…プロジェクトチーム）に分かれて児童が主体的に活動した。

- ア 神戸川クリーン作戦PT（地域を流れる川の浄化活動）
- イ 花と緑の応援PT（校地の花の栽培活動）
- ウ 防災リーダーPT（防災キャンプへの参加）
- エ 樹木マップづくりPT（校地の樹木の調査活動）
- オ メダカの学校PT（メダカの棲むビオトープ再生活動）
- カ 東京都内ユネスコスクールとの交流派遣隊  
（交流先：多摩市立多摩第一小学校、目黒区立五本木小学校）



（メダカの棲むビオトープ再生活動） （五本木小学校との交流）

チャレンジャー隊の積極的な活動に触発されて、全校児童の板山 ESD 活動への意識が飛躍的に向上し、参加意欲が全校児童に広がった。

③ 【地域】……学校運営支援協議会（「板山っ子応援隊」）の結成

「板山 ESD」の展開を通して地域の団体、有識者から主にシニア世代を中心にボランティアを募り「板山っ子応援隊」として組織した。同応援隊は児童の ESD 活動に応じて以下の活動等を展開し、児童の「学び」を支援した。

- ア 授業の応援（各種ゲストティーチャー）
- イ 土曜学習（自然体験会など）
- ウ 放課後の遊びの応援
- エ 登下校の見守りの応援



（板山っ子応援隊との対面式）



（板山っ子応援隊募集のチラシ）

(3) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）